

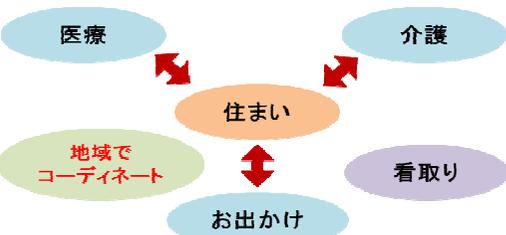
# V 健やかな「都」をつくる 16 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実

## (82) 地域包括ケア・在宅医療の充実

### これまでは

地域包括ケアシステムの構築を地域別に進めてきています。

#### 地域包括ケアの充実



医療・介護資源の少ない南和地域のほか、各地で取り組みを始めています。

・地域別の医療・介護の諸課題について議論を深め、一定の方向性を見いだすため市町村と県との協議の場を設置

- 令和2年8月 第1回 県と西和7町との協議の場 (現状分析・意見交換)
- 10月 第1回 県と南和12市町村との協議の場 (現状分析・意見交換)
- 第2回 県と西和7町との協議の場 (在宅医療・介護の連携について意見交換)

### もっと良くするために

南和地域の地域包括ケア・在宅医療の充実を進めます。

#### OAIを活用した高齢者支援システムの構築(12万円)



- 【スケジュール】
- R2 実証実験を実施
- R3 本格実施に向けたモデル実施

#### ○(新)ICTを活用した地域リハビリテーションの推進(60万円)

・南和地域において、ICTを活用したリハビリ専門職からの助言等を受ける仕組みを構築

#### その他の地域の取り組み

- 複数の職種にわたる機能を有した人材(奈良県版ラヒホイタヤ)を県独自で育成し、活動を支援(110万円)
- 在宅医療の取組の支援(120万円)
- 切れ目のない在宅医療と在宅介護の構築(100万円)
- 認知症施策の推進(300万円)
- 介護予防の推進(100万円)
- 市町村の地域支援事業の経費負担(978万円)

令和3年度予算案 1,060百万円

R3予算案 1,060,313千円

### ①南和地域におけるAIを活用した高齢者支援システムの構築 (12,393千円)



### ②ICTを活用した地域リハビリテーションの推進 (6,000千円)

自立支援・重度化防止を地域に普及させるため、市町村・関係機関等の専門職等から助言等を受けることができるICTを活用した仕組みを構築



主な取組	取組内容	金額
地域包括ケアを支える人材の確保	③複数の職種にわたる機能を有した人材(奈良県版ラヒホイタヤ)を県独自で育成し、活動を支援	11,100千円
在宅医療の取組の支援	④在宅医療への参入促進などの取組に対し支援 ⑤へき地診療所の機能向上のため、看護師の派遣や共同採用など応援システムを南和広域医療企業団と連携し構築	11,878千円
切れ目のない在宅医療と在宅介護の構築	⑥入院患者が退院される際に病院から介護へ円滑に引き継ぐためのルールを活用・充実	674千円
認知症施策の推進	⑦認知症の人と家族を支えるため、認知症の理解の普及や見守りなどの地域づくりを推進	30,326千円
介護予防の推進	⑧介護予防や生活支援の充実に資する住民運営の通いの場の普及拡大 ⑨(新)第8期介護保険事業支援計画の推進	9,942千円
市町村の地域支援事業の経費負担	⑩市町村の地域支援事業に要する経費を負担	978,000千円

#### <問い合わせ先>

- 医療・介護保険局 ①②⑥⑦⑧⑩地域包括ケア推進室 中屋敷室長補佐(内線2853) ⑨介護保険課 植田課長補佐(内線2851)
- 福祉医療部 ③長寿・福祉人材確保対策課 内田課長補佐(内線3211)
- 医療政策局 ④地域医療連携課 梅本補佐(内線3112) ⑤医師・看護師確保対策室 永田室長補佐(内線3195)

# V 健やかな「都」をつくる 16 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実

## (83) 県立医大の移転、医大病院施設・外来棟の整備

これまでは

県立医科大学の新キャンパスの先行移転分(教養教育部門及び看護学科の施設)は令和6年度完成予定。

### ○整備コンセプト

藤原京をモチーフとして、奈良への愛着を醸成し、奈良県立医科大学ならではの医学教育を実践する場にふさわしい姿を具体化

令和2年度は、文化財発掘調査や造成設計、建築基本設計を実施しました。



整備イメージ

もっと良くするために

新キャンパス先行整備について、令和3年度中に文化財発掘調査を完了し、造成工事に着手します。また、先行整備分の建築にかかる実施設計を行い、令和4年度から建築工事に着手予定です。(1,567百万円)

現キャンパスの耐震応急対応、臨床医学研究棟の除却を行います。(523百万円)

(新)新キャンパス継続整備、医大附属病院新外来棟等の整備について、方針・手順等を検討します。

※新外来棟は新駅の設置に関わらず、現キャンパス敷地の南側に設置することで進めます。

(30百万円)



新キャンパス敷地

新外来棟等附属病院のイメージ図  
(南側に設置)

令和3年度予算案 2,120百万円

R3予算案 2,120,004千円

○豊かな知識と優れた技能、地域貢献の気概を持った国際水準の医療人を育成するために学習・教育環境を移転整備 (■先行整備(～令和6年度):主に教育部門 ■継続整備:主に研究部門)

○移転後の現キャンパスを活用し、中南和地域の高度医療拠点病院としての附属病院の機能充実を推進

### 1 新キャンパス先行整備(1,567,304千円)

#### ・文化財発掘調査、造成工事、建築実施設計等

<スケジュール>

■令和元年度～令和3年度:文化財発掘調査、造成・建築設計

■令和3年度～令和6年度:造成・建築工事

※令和6年度先行整備竣工予定



新キャンパス敷地

### 2 現キャンパス機能充実(522,700千円)

#### ・臨床医学研究棟除却工事

#### ・耐震応急対応設計、工事

<スケジュール>

■令和元年度～令和3年度:臨床医学研究棟除却設計・工事

■令和元年度～:耐震応急対応



新外来棟等附属病院の整備イメージ

### 3 新キャンパス継続整備及び新外来棟等整備(30,000千円)

#### ・(新)整備方針・手順等の検討

<問い合わせ先>

医療政策局

病院マネジメント課 吉川課長補佐(内線3162)

# V 健やかな「都」をつくる 16 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実

## (84) 西和医療センターの移転・再整備の検討

### これまで

西和医療センターは、西和地域における中核病院として、循環器疾患や小児科をはじめとする二次救急の受け入れにおいて重要な役割を果たしています。一方で、建設から約40年経過し、施設の老朽化が進んでおり、高齢化や人口減少が進む中、将来に向けた西和医療センターの機能や運営のあり方について検討していく必要があります。

○広域的な課題について、県と西和7町で協議の場を立ち上げ、西和地域の医療、包括ケアのあり方について協議を行いました。

○令和2年度は、前年度に引き続き、県と機構が連携して、西和地域の医療需給分析、西和医療センターに求められる医療機能や施設規模の検討を進めております。

#### 西和医療センターのめざす姿(素案)

以下の6つの機能の充実を目指します。

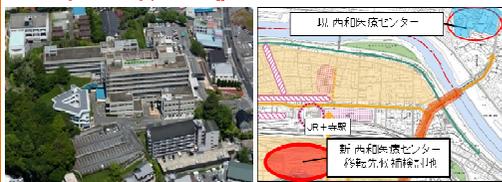
- ・救急医療
- ・重症急性期医療
- ・政策医療
- ・災害医療
- ・地域包括ケア
- ・人材教育

### もっと良くするために

西和医療センターの現地での再整備は、病院機能が停止したり大幅な制限が必要になるため、**移転も視野に入れた検討**を進めます。

西和医療センターのあり方の検討を進めます。  
(14百万円)令和5年度までに基本計画策定予定

○部門別機能の検討、医療機器等の導入の基礎検討、整備手法と整備費用の検討、関係医療機関との機能調整を行い、**令和3年度に基本構想の策定を目指します。**



現西和医療センター (図面出典: 玉串町地産産加工)

病院本館南病棟の耐震応急対応のための実施設計及び工事を行います。(53百万円)

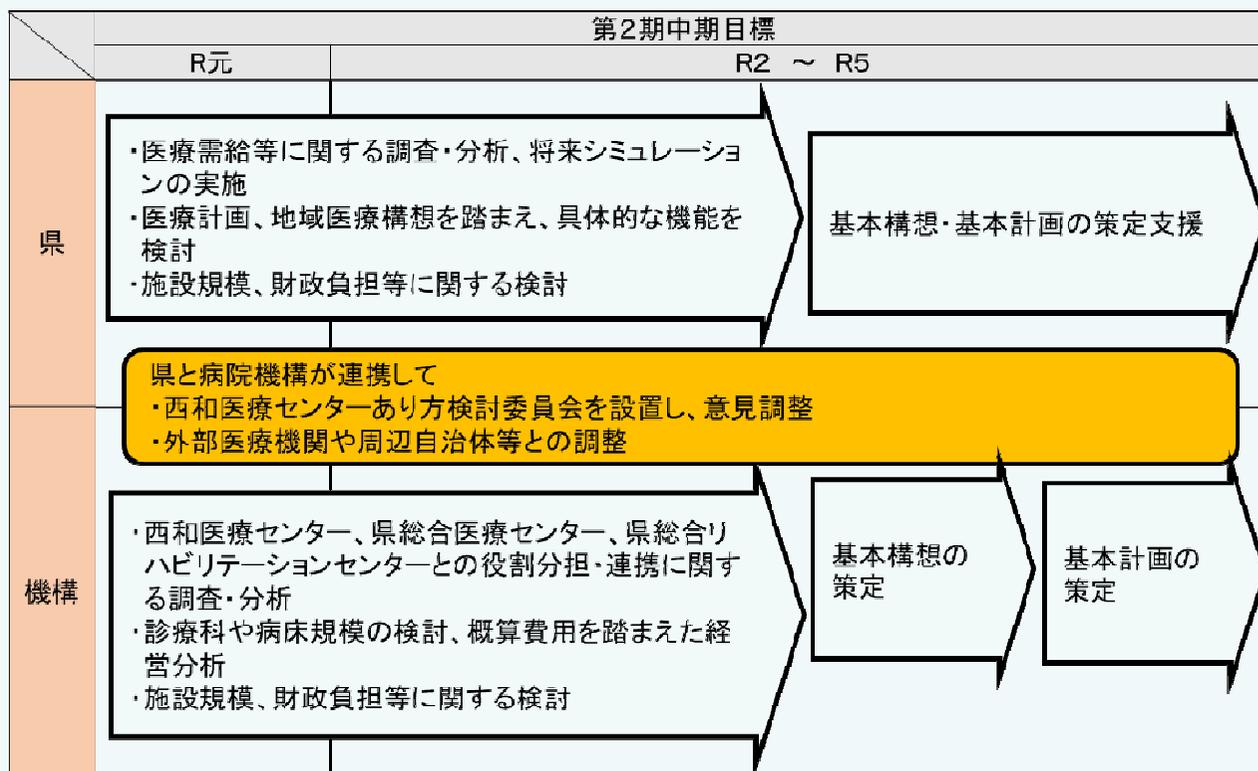
令和3年度予算案 67百万円

R3予算案 66,800千円

## 1 西和医療センターのあり方検討(14,000千円)

部門別機能の検討、医療機器等の導入の基礎検討、整備手法と整備費用の検討を実施  
病院機構と連携し、地域の関係者等と医療機能について意見交換

### 令和3年度基本構想策定



## 2 西和医療センターの施設耐震化 (52,800千円)

<事業内容> 西和医療センターにおいて、**耐震応急対応のための実施設計及び工事を実施(R3~R4)**

<対象施設> 病院本館(南病棟)

<問い合わせ先>

医療政策局 病院マネジメント課 奥課長補佐(内線3122)

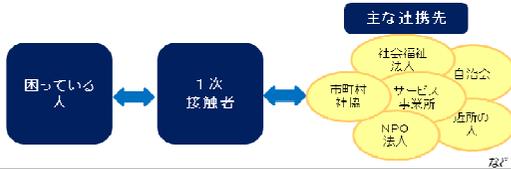
# V 健やかな「都」をつくる 17 福祉の充実

## (85) 日本一福祉の進んだ地域を目指す「福祉の奈良モデル」の構築

### これまでは

- 福祉の奈良モデルの基本となる考え方は、
- ・困っている人を誰一人排除せず助ける
  - ・地域の限られた人的、物的資源を活用してチームで活動する
  - ・寄り添い型福祉モデルを構築

福祉の原理を探求し、奈良県が目指す「福祉とは何か」について検討を進めています。



- 「包括的相談支援体制」のあり方調査を実施し、市町村の総合相談機能の充実に支援
- 地域の課題解決に資する人材の育成と活用を推進するため、市町村のモデル的取組支援や、CSW実践研修を実施
- 市町村の地域福祉計画策定を支援

### もっと良くするために

福祉に対する奈良県の思いは、「県の役割をしっかりと果たしたい」、「福祉を徹底的にやりたい」、「県の努力で社会保障を充実させたい」です。

県の果たすべき役割は、「社会保障制度が十分機能しているかどうかの見極め」、「相談による実態の把握」、「対象者の事情に応じた適切なサービスへの接続」と考えます。

- (新)福祉の奈良モデル構築の推進(13百万円)
  - ・地域の実情に応じた包括的な支援体制を整備するため、専門家を交えて研究及び検討を行い、その検討結果を踏まえ、次期「奈良県地域福祉計画」(R4～R6)を策定。
  - (1)有識者による検討懇談会の開催
  - (2)包括的な支援体制の整備に向けて、市町村の実情に応じた個別支援の実施等
- 県域における地域福祉の推進(3百万円)
  - ・アウトリーチにより相談支援を行う人材(コミュニティソーシャルワーカー等)の育成、適切なサービスへつなぐ機能の強化

令和3年度予算案 10百万円

R3予算案 16,040千円

### ■(新)福祉の奈良モデルの検討(13,500千円)

社会保障分野において地方行政が果たす役割について、専門家を交えて研究及び検討を行うとともに、その検討結果を踏まえ、次期「奈良県地域福祉計画」を策定

#### 【福祉の奈良モデル】

##### 奈良県の思い

- 県の役割をしっかりと果たしたい
- 福祉を徹底的にやりたい
- 県の努力で社会保障を充実させたい

##### 果たすべき役割

- ① 社会福祉制度が十分機能しているかの見極め
- ② 相談による実態の把握
- ③ 対象者の事情に応じた適切なサービスへの接続

#### 令和3年度の取組

- 有識者による懇談会において、奈良県における社会保障のあり方・実現方策等を検討
- 次期「奈良県地域福祉計画」(R4～R6)の策定

### ■ 県域における地域福祉推進(2,540千円)

複雑化・複合化する地域課題の解決に向けて、市町村の包括的な支援体制の整備を支援

- (1) (新) 包括的な支援体制整備に向けたノウハウ提供等の支援
- (2) コミュニティソーシャルワーカーの応用力向上を目的とした実践研修の実施
- (3) 地域課題の発見・解決に向けた現地支援

<問い合わせ先>

福祉医療部 地域福祉課 下市課長補佐(内線2812)

# V 健やかな「都」をつくる 17 福祉の充実

## (86) 農福連携の推進

これまでは

障害者の収入確保に向けて、障害者の働く場を農業分野に広げてきています。

農業分野で障害者を理解する取組

○農業分野における職場体験実習の実施

○農福連携マルシェ(販売会)の開催

農福連携  
マルシェ



障害者側が農業を知る取組

○障害者就労施設へ専門家を派遣、農業にかかる人材育成研修を実施

農業側と福祉側をつなぐ取組

障害者の農業雇用を支援

○農業参入に対するワンストップ相談

○障害者雇用をする農業者に設備投資資金の利子補助

もっと良くするために

農福連携の**具体的取組を開始**します。

○障害者就労施設等が新たに農地を確保し、農業経営を開始(1百万円)

- ・経営計画等の策定に対する支援
- ・専門家派遣や農林振興事務所による指導
- ・実習のコーディネートによる障害者雇用の促進

○特定農業振興ゾーンにおける農福連携の推進(1百万円)

- ・特定農業振興ゾーンにおいて、障害者を雇用して農業に取り組む事業者に対する支援の仕組みを検討
- ・障害者雇用に取り組む事業者を掘り起こし
- ・障害者雇用を円滑に進めるための支援

○これまでの、障害者の働く場を農業分野に広げていく取組は継続(6百万円)

令和3年度予算案 8百万円

R3予算案 8,142千円

### ◆障害者就労施設等が新たに農地を確保し、農業経営を開始

#### ①(新)農福連携モデルの構築(500千円)

農地を確保し、新たな農福連携に取り組む県内の障害者就労施設等に対し、経営計画の策定や障害者雇用の環境整備等について支援

- ・安定した農業経営のため、収支のシミュレーションや生産コストの低減など経営計画の策定に対する助言
- ・品目ごとの病虫害対策や適切な施肥など農業生産に関するノウハウの提供
- ・特別支援学校や支援機関との連携により、従事する障害者の発掘



農業地の風景

### ◆特定農業振興ゾーンにおける農福連携の推進

#### ②奈良の意欲ある担い手支援(509千円)

農業参入に対するワンストップ相談を通して、障害者雇用に取り組む事業者を掘り起こし

#### ③農福連携職場体験実習(499千円)

農業の体験実習により、障害者雇用を円滑に進めるための支援

### 障害者の働く場を農業分野に広げていく取組

#### ④農福連携マルシェ(販売会)の開催(1,170千円)

障害者就労施設等が生産する農産物や加工品の販売、農福連携の活動紹介

#### ⑤農福連携専門家派遣(950千円)

障害福祉サービス事業所へ専門家を派遣し、農産加工品の新規開発や農産物の販路拡大を支援

#### ⑥農福連携コーディネーターの配置(3,789千円)

障害者と農業者のマッチングを支援

#### ⑦農業者研修及び農作業委託支援(370千円)

農業者向け研修の開催及び農作業委託体験の支援

#### ⑧農福連携資金利子補給(355千円)

障害者雇用をする農業者等の農機具等購入に係る借入金に対する利子補給

<問い合わせ先>

①③④⑤⑥ 福祉医療部 障害福祉課 植谷課長補佐(内線2832)

②⑦⑧ 食と農の振興部担い手・農地マネジメント課 伊村課長補佐(内線4021)